



園芸作物栽培に関する

これからの対策
と
Q&A

秋野菜の定植と今後の管理

秋野菜は夏野菜と違って、暑い時期から冷涼な季節に向かう作型となりますので、初期成育をしっかり確保することが肝要です。また、9月は害虫の活動が最も盛んな時期となりますので、予防防除を主体にして被害を未然に防ぎましょう。特に幼苗期に食害されますと以降の生育が不良になります。以下、秋野菜の栽培ポイントについて述べておきます。

◎圃場準備

品目によってはすでに圃場の準備も終わっていると思いますが、秋は台風と長雨シーズンで圃場の排水状況が生育に大きく影響してきます。丹南地域では基本的に20〜25cmの畝は立てましょう。ダイコンなどは30cm位の畝を立てたいものです。なお、刺激臭のある堆肥は栽培直前の施用はしないほうが無難です。秋野菜栽培直前に使うと障害の方が多くなります。特にマルチ栽培の場合は注意しましょう。未熟堆肥は秋作が終わった後、冬前に土壌混和するようにしましょう。

◎秋野菜の播種・定植

秋野菜の播種・定植のスケジュールは下記の表の通り（露地栽培の場合）となっています。秋は気温が低下する季節に向かうため、農作業のスケジュールはあまり余裕がありません。春は播種時期が少々違っても収穫時期はあまり変わりませんが、秋は播種が3日遅れると収穫は1週間遅れると考えるべきです。

◎元肥・追肥の施用

秋季の栽培は低温期に向かうため、越冬野菜を除きスタートダッシュ型の栽培を心がけましょう。そのため元肥施用から第一回目の追肥までの期間は割合短いため、施用遅れとならないようにしましょう。

施肥の目安 (1a当たりkg)	元 肥				追肥①	追肥②
	あさひ	BM ようりん	FTE	硫酸 カリ	そさい3号または そさい5号	
ダイコン	10	4~5	0.5	1	2~3	2~3
ハクサイ	12		0.5		3~4	4~5
キャベツ	12	1~2			3~4	4~5
ブロッコリー	12	3~4	0.5		3~4	4~5

品 目	第一回目追肥	施用量(kg/a)	第二回目追肥	施用量
ダイコン	本葉2~3枚目頃	2~3	本葉6~7枚目頃	2~3
キャベツ	定植後3週間くらい	3~4	結球始め	4~5
ブロッコリー	同上	3~4	同上(花蕾見え始め)	4~5
カリフラワー	同上	3~4	同上	4~5
ハクサイ	同上	3~4	同上	4~5
レタス	定植後2週間くらい	2~3	同上	2~3
チンゲンサイ	本葉4~5枚目ごろ	2~3	—	—

追肥は作物体に触れないように株元からやや離れたところに撒き、出来れば土と軽く混和する。第二回目追肥は概ね一回目の2週間後となる。施肥に当たっては除草をかねて土壌と混和し、土寄せします。マルチ栽培の場合は原則として元肥のみとし追肥は行わないが、生育が思わしくない場合は液肥(400~500倍液)として流し込むか通路の肩部分に施用する。



ダイコンサルハムシ成虫

概ね3週間程度防除効果があります。・黒マルチ利用の場合は植え穴を土で塞ぐこと(熱気防止)と、苗の葉がマルチに触れないようにする(葉焼け防止)。・活着までの晴天日は水やりをしましょう。与えた水が十分しみている

か確認の習慣をつけましょう。・害虫の防除 秋は害虫の発生が多く、また大きくなるのも早いので、定期的な防除は欠かせません。高温年はシンクイムシ、コナガ、ヨトウムシの発生が多くなるので注意して下さい。秋雨の頃になるとナメクジも出てきますが、秋のナメクジは大型の個体が多いので被害も大きくなります。

秋野菜の播種・定植のスケジュール

品 目	播種時期	定植時期	収穫時期	備 考
キャベツ	7月下旬~8月上旬	8月下旬~9月上旬	10月下旬~12月中旬	播種後90~110日
ブロッコリー	同上	同上	10月中旬~12月中旬	脇芽は翌春まで可能
カリフラワー	同上	同上	10月中旬~12月中旬	
ニンジン	7月下旬~9月上旬	—	11月上旬~3月下旬	8月中旬以降は翌年穫りとなる
ハクサイ	8月上旬~中旬	9月上旬~9月中旬	10月中旬~11月下旬	播種後60日~85日
レタス	8月中旬~下旬	9月上旬~9月中旬	10月中旬~11月下旬	
チンゲンサイ	8月上旬~9月中旬	8月下旬~9月一杯	10月上旬~11月中旬	直播栽培もある
ダイコン	8月中旬~9月上旬	—	10月中旬~12月上旬	播種後60~70日
カブ	8月下旬~9月下旬	—	10月上旬~12月中旬	小カブ、中カブ、大カブの品種群がある
ネギ	9月上旬~下旬	翌4月上旬~下旬	翌9月上旬~10月中旬	春蒔きもある。
タマネギ	9月中旬	11月上旬	6月上旬~6月中旬	貯蔵性に品種差あり
ホウレンソウ	9月中旬~10月上旬	—	10月下旬~11月下旬	11月上中旬に蒔いて翌春穫りもある
コマツナ	8月上旬~10月上旬	—	9月上旬~12月上旬	
シュンギク	9月上旬~10月上旬	(育苗、定植もある)	10月上旬~12月下旬	摘み取り方式が多い
秋ジャガ	9月上旬	—	11月中旬~下旬	農林一号がデジマ
京ミズナ	9月上旬~下旬	—	11月上旬~12月下旬	
勝山水菜	9月下旬~10月上旬	10月下旬~11月上旬	翌年4月中旬~6月上旬	
越冬キャベツ	10月上旬~中旬	11月上旬~中旬	5月~6月	品種の選定に注意
ニンニク	10月中旬	—	6月上旬	ホワイト六片が高品質

◎定植作業上の注意点

・露地栽培では畝立ては中耕・土寄せするに十分な条間をとりましょう。
・適正な植栽間隔を守りましょう(概ね4株/m²)。
・秋野菜はアオムシ、コナガなどの発生が非常に多くなりますので、植え付け時にジェイエース粒剤などの土壌施用をしておきます。施用から



ダイコン軟腐病

◎病害虫の防除

秋はアオムシやコナガ、シンクイムシ、ヨトウムシ、アブラムシなど害虫が多く生息する中で、のスタートとなりますので害虫の防除対策はしっかり立てておかなければなりません。まずは定植時期の苗処理剤、土壌処理剤を施用することが肝要です。また、ハクサイ、キャベツなどは結球内部に食い込まれると防除困難となりますので結球の始まる前にはしっかりと害虫を退治しておいてください。主な薬剤の登録内容は以下の通りです。

なお、残暑が厳しい年は湿度と窒素過多により軟腐病、黒腐病、斑点細菌病、べと病などが発生しやすくなります。更に、台風などによる傷みが病気を助長しますので、風雨の後は直ちに殺菌剤散布を徹底してください。

◎その他の野菜

タマネギの播種は9月中旬となります。サツマイモの収穫も始まります。挿し苗してから110~120日経過後に掘り始めます。

今月のQ&A

Q. 菊芋の種芋を友人からもらい植えてみたら背丈が非常に伸びました。今後はどのような管理をすればいいですか? 中野町 Gさんより

A. 菊芋は8月になると背丈も伸びて根元から新しい芽が出てくるので混んできた間引きをしてみてください。台風が心配な場合は支柱を立て固定をしてみてください。収穫は12月に入ってからです。菊芋は栄養分の吸収が強いので、追肥の必要はありませんが、一度作ると土が痩せるので連作には向きませぬ。どうしても連作する場合は、堆肥を施用してください。

	キャベツ	ブロッコリー	ハクサイ	ダイコン	レタス	カブ	使用法
スタークル粒剤	○	○	○	○	○	○	植穴処理・株元散布
ダントツ粒剤	○	○	○	○	○	○	苗処理・植穴処理・株元散布
モスピラン粒剤	○	○	○	○	○	○	植穴処理・株元散布
ジェイエース粒剤	○	○	○	○	○	○	植穴処理・株元散布
プレバゾン粒剤	○	○	○	○	○	○	苗処理・株元散布

使用に当たっては農薬登録、使用法を確認してください。

お問合せ先



東部ふれあいセンター内
営農生活課 担当:高橋
TEL.0778-51-8004

バックナンバーはJAたんなんホームページ
http://ja.tannan.com/広報誌をご覧ください。